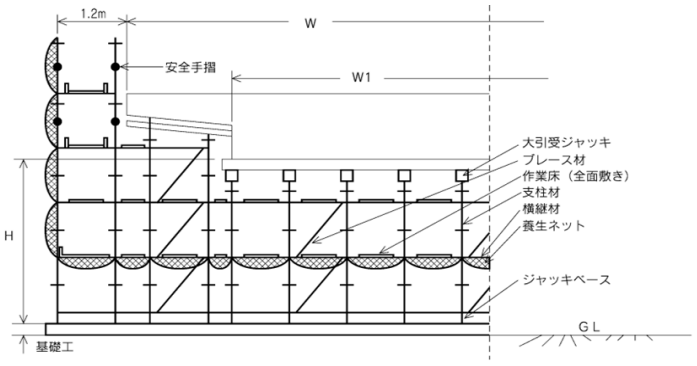
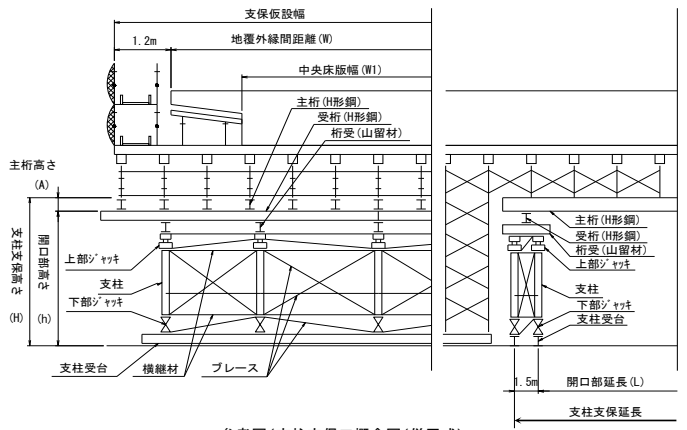
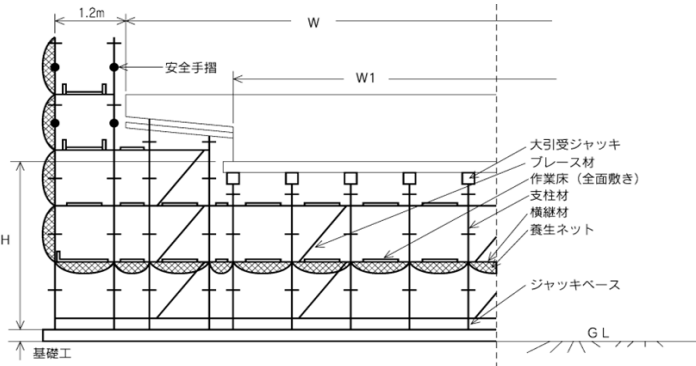
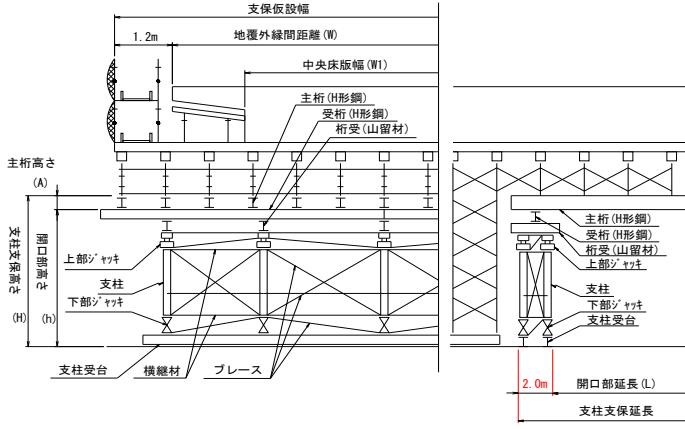


土木工事標準歩掛の訂正

工 種 名	誤	正	適 用
架設支保工	<p>(参考)</p>  <p>参考図 (くさび結合支保工概念図)</p> <p>注) d は、Wに対する平均コンクリート厚であり、中空部、地覆部及び変断面等を考慮し算出する。 なお、dの算定式は、 $d(m) = \text{コンクリート体積 (m}^3) \div [W(m) \times \text{桁長 (m)}]$ とする。</p>  <p>参考図(支柱支保工概念図(併用式))</p> <p>(注) 1. 主桁と受桁、受桁と桁受、桁受・支柱受台とジャッキの交点には緊結金具 (2個/箇所) を設置する。 2. 桁受と上部ジャッキ、下部ジャッキと支柱受台の交点には補強材 (2個/箇所) を設置する。 3. 支柱間には中段足場を設置する。 4. 主桁上面には合板足場板を設置する。 5. 交差道路側の支柱材の周囲には安全ネットを設置する。</p>	<p>(参考)</p>  <p>参考図 (くさび結合支保工概念図)</p> <p>注) d は、Wに対する平均コンクリート厚であり、中空部、地覆部及び変断面等を考慮し算出する。 なお、dの算定式は、 $d(m) = \text{コンクリート体積 (m}^3) \div [W(m) \times \text{桁長 (m)}]$ とする。</p>  <p>参考図(支柱支保工概念図(併用式))</p> <p>(注) 1. 主桁と受桁、受桁と桁受、桁受・支柱受台とジャッキの交点には緊結金具 (2個/箇所) を設置する。 2. 桁受と上部ジャッキ、下部ジャッキと支柱受台の交点には補強材 (2個/箇所) を設置する。 3. 支柱間には中段足場を設置する。 4. 主桁上面には合板足場板を設置する。 5. 交差道路側の支柱材の周囲には安全ネットを設置する。</p>	<p>誤記の訂正</p>